

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	スポーツリテラシーV (Sports Literacy V)		
ナンバリングコード	E30707	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル スポーツビジネス
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 前期
必修・選択区分	選択: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E001601	クラス名	-
担当教員名	吉田 明		
履修上の注意、履修条件	スポーツ組織のマネジメント、チームワーク、リーダーシップについて学びます。スポーツに対しては、各人がそれぞれのこだわり、考え方をしていますが、そこから新しい考えは生まれてきません。ゼロベースで物事を考える重要性を学んでもらいます。必ず講義後は資料、ノート整理を行ってください(復習)。		
教科書	各講義で資料を配付します。各自ファイルに保管し毎週持参してください。		
参考文献及び指定図書	組織マネジメント戦略(有斐閣)、宇宙兄弟今いる仲間であまくいくチームの話(Gokken)、チームの心をつなぐ技術(日本実業出版社)、スポーツ集団のマネジメント(ぎょうせい)		
関連科目	スポーツビジネス・マネジメント概論、スポーツ経営学、スポーツリテラシーIV		

○基本情報			
授業の目的	私たちは、日常生活の中で、多くの集団や組織、あるいは社会に所属し、かかわりを持ちながら生活しています。現在、スポーツ活動の場は広がっています。一人で行うスポーツもありますが、集団で行われることの方が多く見られます。集団で行われるスポーツには、必ず組織的な活動や役割分担があります。そして、それに付随して、企業組織やスポーツチームでは、リーダーシップの取り方、チームワーク、役割、魅力、指導者のマネジメントなどがあります。本講義では、草の根レベル、企業レベル、スポーツチームについての事例をあげながら、スポーツ組織の活動や役割、そして、リーダーシップやチームワークを理解します。習得した知識をビジネスの場で適応、応用できる技術として身につけることを目的とします。		
授業の概要	スポーツチーム・組織のマネジメントについて学びます。組織の事業活動が機能するためには、マネジメントが必要になります。スポーツ組織においても例外ではありません。スポーツ組織における事例をもとにマネジメントの必要性を理解します。そして、チーム組織に欠かせない「リーダーシップ」や「リーダーの役割やスタイル」、「チームワーク」や「チーム・組織の魅力」、「指導者のマネジメント」も学びます。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	スポーツリテラシーVを担当する教員(吉田明)は、社会人、プロスポーツ選手を経て、引退後、プロコーチも経験しヘッドコーチや監督を務めた(中学・高校・大学・社会人・ラグビー教室)。その経験を活かし、企業組織やスポーツ組織の組織変革やマネジメントについて説明をしています。現在、日本体育学会、日本コーチング学会、日本ラグビー学会に所属し、日本スポーツ協会コーチディベロッパー、ワールドラグビーエドゥケーターも務める。講演活動やコーチング活動、ラグビー教室やラグビーイベントなども行っている。		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	スポーツ組織でのマネジメントに必要な知識や倫理観を身に付けるとともに、リーダーシップやチームワークについても、目的意識を持って自発的に学習する能力を身につける。			20点
【知識・理解】	スポーツ組織での専門的・実践的知識を習得し、それらを総合・活用して問題解決を図るリテラシーを身につける。		50点	
【技能・表現・コミュニケーション】	グループワークや課題への取り組み、プレゼンテーションの内容、ディスカッションの参加を重要視する。			10点
【思考・判断・創造】	変容する社会において、多角的に考察・分析し、スポーツ組織での現場で課題解決できるマネジメント能力を活かし、リーダーシップやチームワークについても、新たな価値創造にチャレンジする能力を身につける。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。	

○その他	
(この欄は空欄です)	

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	スポーツリテラシーⅤ (Sports LiteracyⅤ) 吉田 明	授業コード	E001601
学修内容				
1. ○第1回 オリエンテーション この授業で学ぶ、「組織」とは何かを説明します。そして、スポーツチーム・組織のマネジメント、リーダーシップ、チームワーク、指導者のマネジメントについて理解します。				
予習	各自で「組織」について理解しておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。			約2時間
2. ○第2回 組織について 組織は、掲げた理念を達成するために事業活動を行います。組織が事業活動によって、生産性を上げるためにマネジメントが必要なことを理解します。				
予習	前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。			約2時間
3. ○第3回 スポーツ組織について スポーツ組織について説明します。スポーツ組織においても、単なる目標ではなく、理念(ミッション、ビジョン)が必要なことを学びます。				
予習	前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。			約2時間
4. ○第4回 スポーツの社会化 スポーツの社会化について学びます。人は、それぞれの世代に必要なスポーツの技術、知識、価値、役割が必要なことを学びます。				
予習	前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。			約2時間
5. ○第5回 スポーツ組織のマネジメント スポーツ組織が機能的に活動するためには、役割分担とその相互調整が必要です。スポーツ組織においてもPDCAサイクルは重要です。特に、評価、改善をしっかりと行うことが次の計画に反映されることを理解し、組織の仕組みづくりについて学びます。				
予習	前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。			約2時間
6. ○第6回 組織・チームを阻害する要因 「理想の組織とは何か?」、それを阻害する要因について学びます。				
予習	前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。			約2時間
7. ○第7回 組織・チームのリーダースタイル スポーツ組織では、「仕事を進めるうえで何を重視するか」、「周囲をどうリードするか」をフレームワークを取り入れ、リーダースタイルを学びます。				
予習	前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。			約2時間
8. ○第8回 チームリーダーの条件とは 組織の生産性を上げるためには、個の能力をあげる必要があります。個の能力を上げるためには意欲の向上が不可欠であることを学びます。				
予習	前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	スポーツリテラシーⅤ (Sports LiteracyⅤ) 吉田 明	授業コード	E001601
学修内容				
9. ○第9回 スポーツチームの組織変革事例① 組織変革に成功したラグビーチームの事例を用いて、大規模な組織変革を成功に導くプロセスと要因を学びます。				
予習	前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。			約2時間
10. ○第10回 スポーツチームの組織変革事例② 組織変革に成功したラグビーチームの事例を用いて、大規模な組織変革を成功に導くプロセスと要因を学びます。				
予習	前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。			約2時間
11. ○第11回 組織のコミュニケーション 組織活動やスポーツ組織の中心は、人と人の関係であり、コミュニケーションを通じてなされます。組織やスポーツチームにおけるコミュニケーションの重要性を学びます。				
予習	前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。			約2時間
12. ○第12回 スポーツ組織でのリーダーの役割 スポーツ組織が機能していくためには、マネジメントも必要であるがリーダーの役割が非常に大きいことを理解する。スポーツ組織内のリーダーやそれにかかわる人々の役割について学びます。				
予習	前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。			約2時間
13. ○第13回 チームワーム・組織力を高める 「チーム」とは、ある目標に向かって集まった組織のことです。「チームワーク」とは、チームで掲げられている目標を達成するために、チームメンバーで協働することを指し、そして、チームワークを高める事を学びます。				
予習	前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。			約2時間
14. ○第14回 スポーツ組織の魅力 スポーツの魅力とは、「する楽しさ」、「観る楽しさ」、「集う楽しさ」などがあります。スポーツ組織の中で自己の個性を発揮し、自己実現を可能にする。そして、人間的なふれあいを深め、他者との連帯感をもたらす事を学びます。				
予習	前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。次回の講義資料を配布します。			約2時間
15. ○第15回 まとめ これまでの講義で学んだ事を、キーファクターを交え、レポート提出します。				
予習	前回の講義で配布した次回講義資料について要点をまとめておくこと。			約2時間
復習	講義資料をもとに授業内容の復習を行ってください。			約2時間
16.				
予習				約2時間
復習				約2時間